

NEWS RELEASE

2022年1月5日
住友重機械建機クレーン株式会社

『SDX407-2 リーダ式アースドリル』販売開始について

住友重機械建機クレーン（株）（社長：岡田道和）は、コンパクトで機動性に定評のあるブーム式アースドリル『SDX407-2』に、新たにリーダ式アースドリル仕様を追加し、販売開始しました。

今回開発したリーダ式アースドリルは、近年都市部の狭隘地などで増加する障害撤去作業へのニーズに対応し、アースドリル拡底仕様やクレーン性能を設定することで、さらなる現場作業の効率化を図った仕様としました。

<主な特徴>

1. 基礎工事の現場で活躍する多様な作業性 ～障害撤去から拡底杭施工まで～
パワフルな掘削力で、障害撤去工事から拡底杭施工までを1台でカバーできるため、現場において機械を入れ替えることなく、効率的な作業が可能です。加えて、アースドリルでの補助つり作業だけでなく、さまざまな荷役作業を想定し、13tのクレーン性能を設定しました。
また、リーダ式アタッチメントはお客様が既に保有されているブーム式『SDX407-2』の本体へ取り付けすることも可能、サブフレームユニット方式により、用途に応じてブーム式とリーダ式の組み替えが容易に行えます。
2. パワフルな作業性
障害撤去仕様では、最大掘削トルク 196 kN・m、掘削深度 30.5 m（ロッキングクレーバ使用時）を発揮。アースドリル仕様においては、摩擦クレーバ使用時、最大掘削トルク 117 kN・m、掘削深度 53.0 m、new ACE1735 拡底バケットにも対応、パワフルで安定した掘削作業を実現します。掘削トルクは、使用するクレーバやアタッチメントなど、用途に応じ5段階に設定可能です。
3. 安全性向上
8インチの新型の大型モニタを搭載し、アースドリル作業時の深度計やリーダの前後・左右の角度を表示する傾斜計を集約させることで、作業時の視認性を向上させました。さらに、整備時の安全性に配慮し、ハウスとカウンタウエイト上面のハンドレールやキャットウォーク（左右・折畳式）を標準装備しています。

<主要仕様>

機種名		SDX407-2 リーダ式アースドリル
フロント形式		リーダ式（平行リンク支持）
リーダ長さ（リーダ式ヘッド含まず）		17.0 m
掘削トルク（5段階切替）		196/117/88/69/39 kN・m 〈20/12/9/7/4 t・m〉
掘削回転数		21 min ⁻¹ 〈21 rpm〉
最大掘削径	オーガ	φ1500 mm
	ケーシング	φ1500 mm
	掘削バケット	φ2000 mm
	拡底バケット	new ACE 1735
最大掘削深度	4段 × 10.85 m ロッキングケリーバ時（標準）	30.5 m
	5段 × 13 m 摩擦ケリーバ時（オプション）	53.0 m
ロープ速度 フロント、リヤ		62 m/min
ロープ径 フロント、リヤ		φ 26 mm
スラストシリンダストローク		6200 mm
スラストシリンダ引き抜き力		260 kN
補助つり能力（最大）		13.0 t
旋回速度		3.5 min ⁻¹ 〈3.5 rpm〉
走行速度		1.9/1.5 km/h
エンジンメーカー/型式		いすゞ 4HK1X
エンジン定格出力		147 k W/2100min ⁻¹ 〈200 PS/2100 rpm〉
販売価格（リーダ式専用機標準仕様/税別）		165,800 千円
年間販売台数		3 台



**SDX
407-2**

リーダ式アースドリル
[障害撤去&拡底杭施工対応機]